

[26_05]九州大学大型計算機センター広報表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/1470239>

出版情報：九州大学大型計算機センター広報. 26 (5), 1993-09-27. 九州大学大型計算機センター
バージョン：
権利関係：

ライブラリ室だより

前号のライブラリ室だよりはお読みにになりましたか。好評¹につき「プログラム相談室潜入ルポ第2弾」と銘打って紹介しようと思ったのですが、相談員の皆さんが楽しみにしている秘密の落書き帳²まで暴露してしまいそうなのでやめておきます。ところで、プログラム相談員になると指導用として計算機を年間15万円分利用できるのはご存じですか³。利用負担金の支払いが高額になり研究費の圧迫を招いている研究室の皆さん！研究室から3人送り込めば、各自週2時間の拘束で⁴45万円分使用できる計算になります。センターの情報も早めに入手できます。相談員同士のつながりも面白いものがあるようです⁵。計算機と縁が切れない皆さんこんなうまい話ほおっておくてはありません！後期もプログラム相談員を募集しますので、ために一度申し込んでみてはいかがでしょうか。

さて、相談員の話はおいといて講習会⁶について一言。ライブラリ室では、毎年12月頃どんな講習会をするかを話し合っています。ここで一番問題になるのは、講義の内容と講師の選択です。FORTRAN、FORTRAN/VP、UXPなどの恒例のものは（…といってもマニュアルを理解して資料を作ってと準備は大変です。…）ともかく、特殊なアプリケーションについては使用法だけではすまない部分はどうしてもできます。それらについては、使用経験豊富で精通している方に講師をやっていただけたらと思っています。経験から裏うちされる説得力やノウハウに勝るものはありません。「スペシャリストの出現望む！」です。センター職員が、それぞれのアプリケーションにプロフェッショナルに対処できれば問題はないのですが、年々サービスするアプリケーションだけでも増加の一途、昨今の計算機事情でネットワークがらみの質問は急増、その上KITE⁷の仕事まで入り込み大変な現状です。とても、とても仕事の合間や片手間にマスターした知識では的を射た細かい指導はできません。もちろんセンター職員も、従来のサービスは低下させずに新しいものは取り入れて何とかユーザのニーズにこたえていこうと頑張っています。どうかお察してください。最近「ユーザズグループ」と言う言葉をよく耳にしますが、そういったユーザの中からオーソリティの方々を見つけだし講習会の講師になってもらえたらと思う次第です。今秋に予定している統計パッケージの講習会「SPSS」は光華女子短期大学の山本嘉一郎先生にお願いしています。平成6年度の講習会は⁸、統計パッケージ関係(SAS, SPSS, ANALYST, S)、グラフィックス関係(PKS, GKS, GRAPHMAN, PHIGS89)、数式処理関係(Mathematica, reduce)などの中から要望の多いものをするようになると思いますが、これならまかせてと思われる方は是非講習会の講師になってくださいませんか。もちろん、謝礼ははずみたいのですが(???)。ライブラリ室では講習会を実のあるものにしていきたいと思っています。スペシャリストの皆さん！ご協力お願いします。

¹勝手に筆者が思っただけです。

²もともとは、相談内容を書き留めて、各相談員の情報交換を行うことが目的で置かれている連絡ノートで、それなりの成果をあげています。ただ、よく見ると〇〇氏がお見合いしたとか、△△嬢にはアッシー君がいるとか、飲み会のことなど面白いことがのっています。

³正確には、消費税相当の「各区分共通負担金」を考慮して15.5万円です。相談員用の登録番号を交付します。

⁴もちろん夏休み冬休みはあります。

⁵この辺の話は、前号のライブラリ室だよりで紹介しています。

⁶講習会の年間計画は、広報の2号に毎掲載しています。

⁷学内LANのこと。来年4月運用をめぐり大慌てで準備中です。

⁸このほかに計画してほしいものがあればお知らせください。もちろん講師がネックですが。